

シメトリン・ピリミノバックメチル・ベンフレセート・MCPB粒剤 クミメート SM 1 キロ粒剤	取扱メーカー： クミカ 原体メーカー： 日本化薬、クミカ、OAT、 日本化薬
成分： シメトリン〔トリアジン系 PRTR・1種〕……………4.5% ピリミノバックメチル〔ピリミジニルカルボン酸系 PRTR・1種〕…1.0% ベンフレセート……………6.0% MCPB〔フェノキシ酸系〕……………2.4%	性状： 淡灰色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】 ……………

- 作用性の異なる有効成分が相乗的に作用し、幅広い雑草に優れた殺草効果を示す水稲用中期除草剤である。
- ノビエ3.5葉期までの幅広い処理適期幅を有する。
- スルホニルウレア抵抗性雑草に対しても優れた殺草効果がある。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】 ……………

- 共通注意事項の5、水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。
- ノビエの3.5葉期までに時期を失しないように散布する。
- 多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので、必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期
ホタルイ	3葉期まで
ウリカワ	4葉期まで (北海道、関東・東山・東海、 近畿・中国・四国は3葉期まで) (東北、北陸は2葉期まで)
ミズガヤツリ	4葉期まで (東北、関東・東山・東海、近畿・ 中国・四国は3葉期まで) (北陸は2葉期まで)
ヘラオモダカ	3葉期まで (東北、九州は2葉期まで)
クログワイ	発生始期まで
オモダカ	広線形葉4葉期まで
シズイ	草丈3cmまで
アオミドロ・藻類による表層はく離	発生始期まで (関東・東山・東海、近畿・中国・ 四国は発生前まで)

- クログワイ、オモダカ、シズイに使用する場合は、有効な前処理剤と組み合わせて使用する。
- 移植又は、は種前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用する場合には、雑草の発生状況をよく観察し、時期を失しないように適期に散布する。

【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 共通注意事項の5、水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 直播水稲に使用する場合は以下の点に注意する。
 - 稲の根が露出した条件では薬害を生じるので使用をさける。
 - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布する。
- 適用作物（水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。
- 適用外作物（せり、くわい）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

【安全対策上の注意】 ……………

- 魚類、藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 散布器具、容器の洗浄水、空容器等は適切に処理する。

【適用と使用方法】

作物名	適用雑草名	適用 土壌	使用時期	10 a 当り 使用量	使用 方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移 植 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ（北海道 を除く） ヘラオモダカ（北海道、 東北、九州） クログワイ（北海道を 除く） オモダカ（東北、関東・ 東山・東海） シズイ（東北） ヒルムシロ アオミドロ・藻類によ る表層はく離（九州を 除く）	砂壤土 ～埴土	移植後20日～ ノビエ3.5葉期 但し、 収穫60日前まで	1kg	湛水 散布	全域（九州を 除く）の普通 期及び早期 栽培地帯	1回 ※
		壤土～ 埴土				九州の早期 栽培地帯	
直 播 水 稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ		稲5葉期～ ノビエ3.5葉期 但し、 収穫60日前まで			全域（九州を 除く）	

※シメトリンを含む農薬の総使用回数 : 2回以内
 ※ピリミノバックメタルを含む農薬の総使用回数 : 2回以内
 ※ペンフレートを含む農薬の総使用回数 : 2回以内
 ※MCPBを含む農薬の総使用回数 : 2回以内